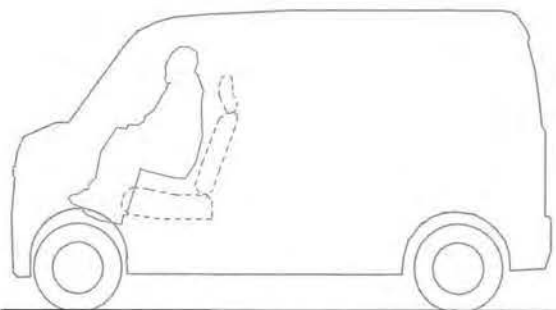


観光客の遮熱対策 Mobile Park

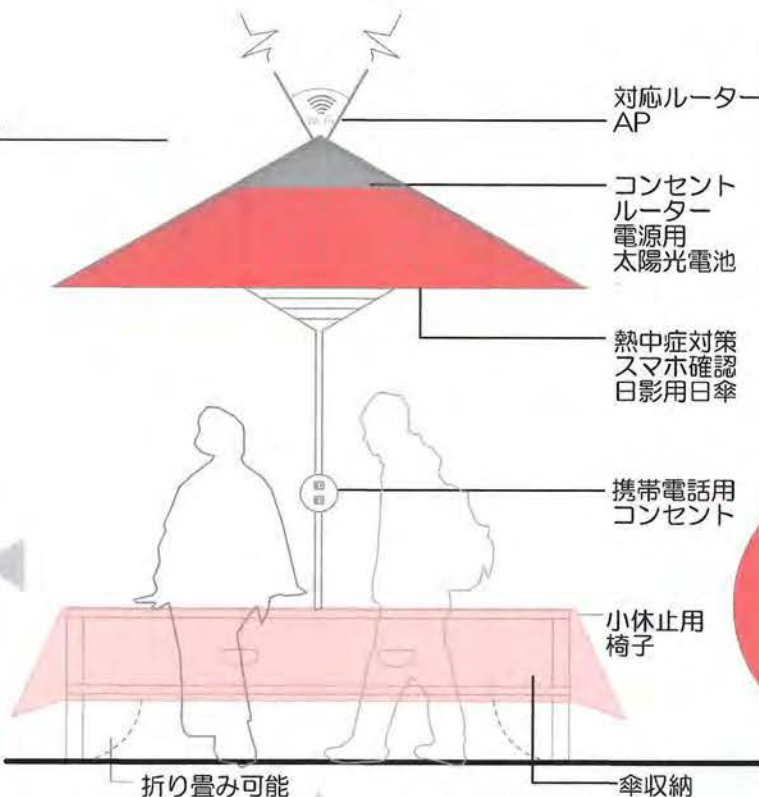
□外国人観光客の困ったこと

- 1) 夏季の遮熱対策
- 2) 無料公衆無線LAN環境
- 3) コミュニケーション



軽バン

■外国人観光客のための提案
軽自動車観光客が多い場所に現れ、日本の伝統文化と遮熱、LAN環境とコミュニケーションスポットを提供します。



折り畳み可能

対応ルーター AP

コンセントルーター電源用太陽光電池

熱中症対策 スマホ確認 日影用日傘

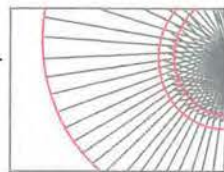
携帯電話用コンセント

小休止用椅子

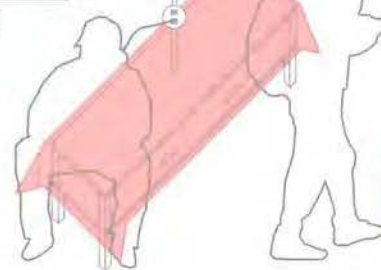
傘収納

影

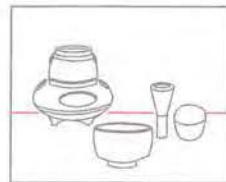
Mobile Park



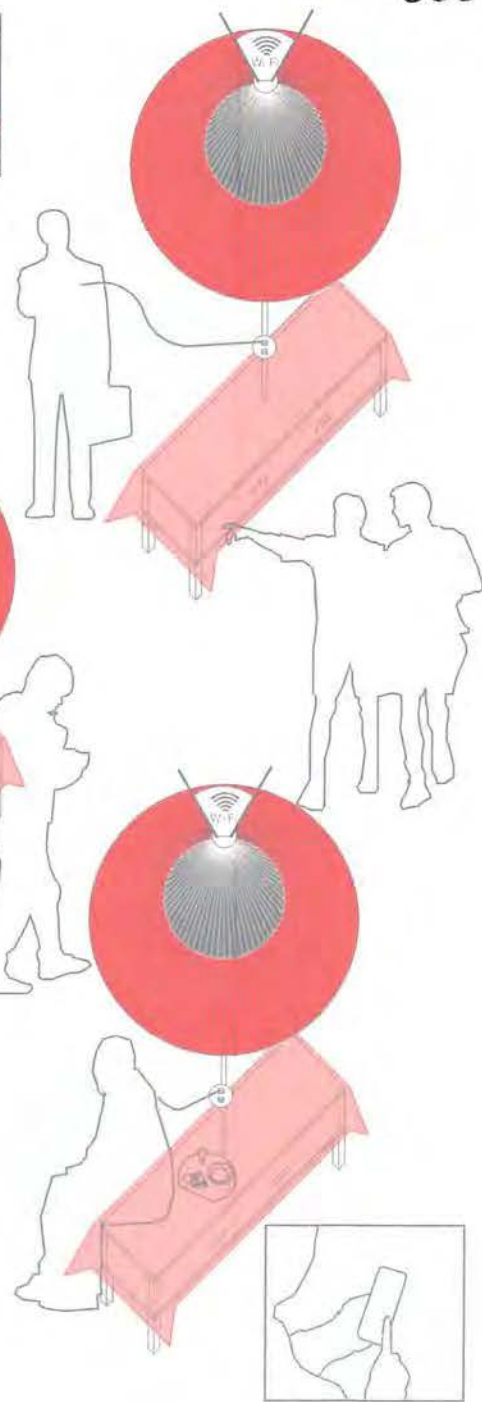
野点傘には人を引き寄せる魅力があり、スマホが見やすい日影の小休止スポットとなります。



充電や無線環境の活用で集まった外国人観光客は、日本の伝統文化に触れます。



野点傘



素側

武雄温泉ご存名な

武雄温泉構門
をイマシ

武雄市の「ランド」豚

「若楠和」をイマシたきの

武雄温泉構門は、見た目が「老宮城」をイマシさせと
「ゆめ子」の「ゆめ子」に「ゆめ子」の「ゆめ子」の
おきな柄にした

神社による橋を
手前にはある

紙やオリを
使った角柱を
たかす

和柄

ピンク色にするにせと、武雄市の「イマシ」花ごある「イマシ」を連想させる

武雄

150mm

1800mm

素材は木
日光や雨に強い塗料(和柄)を
使用して、
かき

裏側

足の脚に猫がくわいて

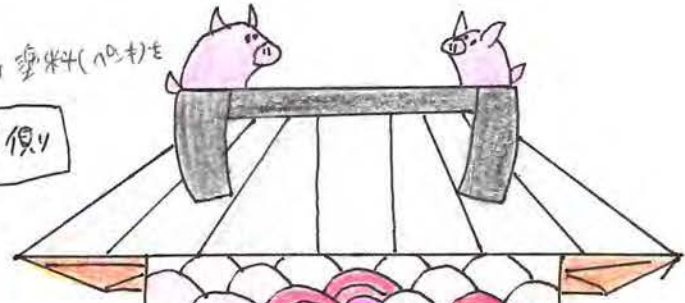
習字「ほ」の字だて
が、ニハ

子、卯、午、酉

武雄温泉構門の2階天井の四隅に

干支の図、表から見て

ニハは、卯



このマキは、
竹、猫
(ラッキーセダン)

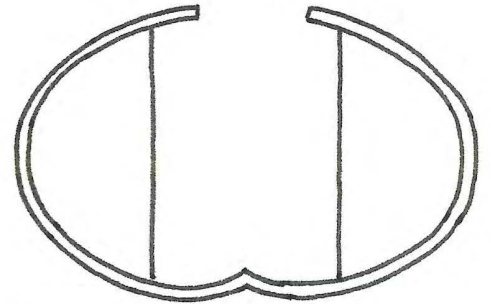
おなじみの反対側
(裏側)に
製作に関わった人の
名前(サイン)や
手形を垂れかた
思い出にた、
良い思い出

午

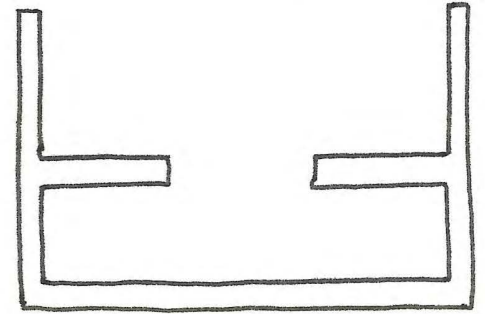
酉



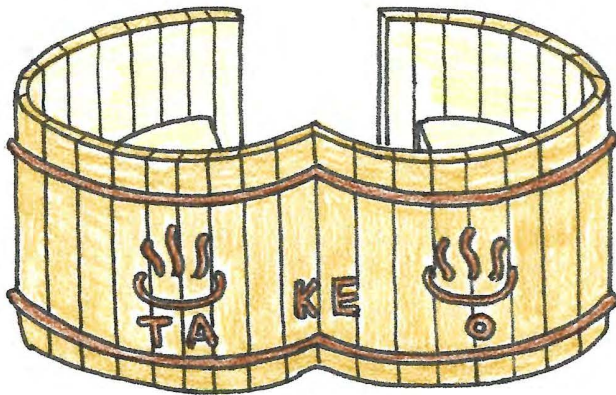
(表) 2人掛け



(真上)

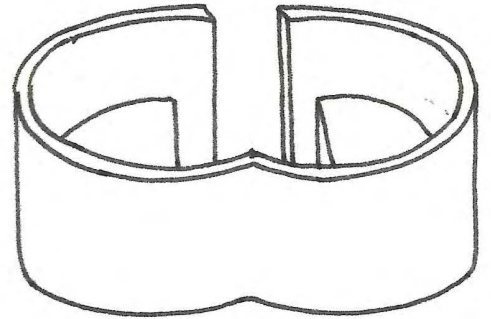


(断面)

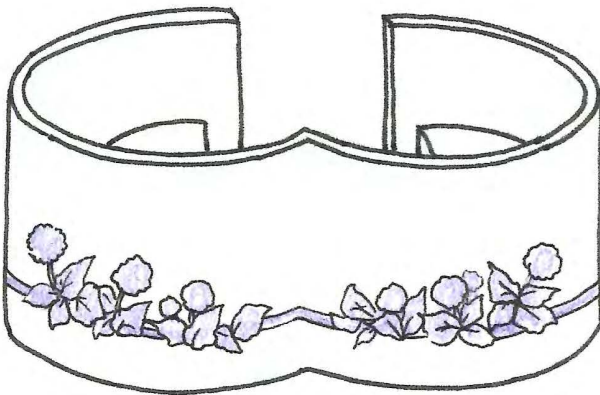


(木樽風)

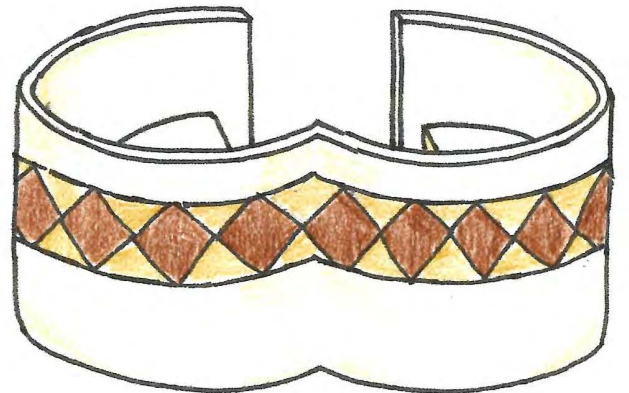
木製か
木目調



(表)



(焼き物の風)



(殿様湯風)

- 素材は 模様や柄に合わせて、モルタルや木材を使用。
- 柄や模様は 地元の作家さんや、観光名所を表すものを。



～よせあいベンチ～



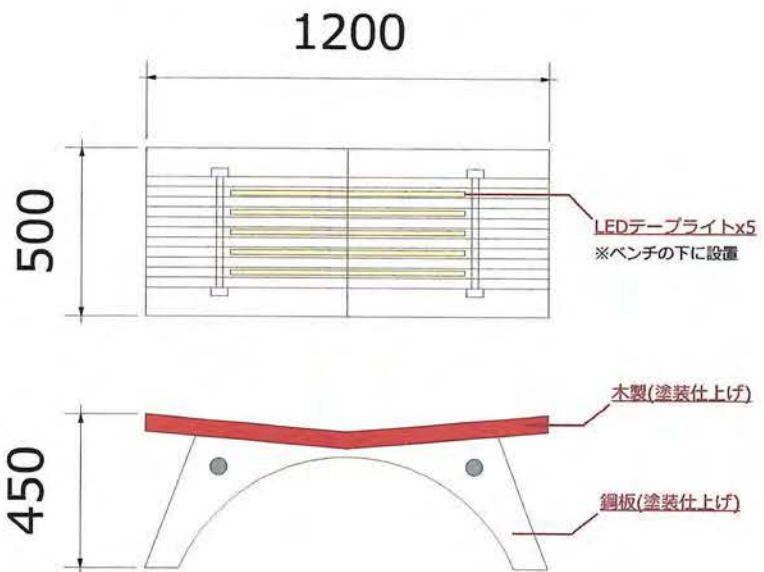
ベンチ下の照明が武雄の夜をまのみに照らし、暖かみのある景色を創り出します。



今回提案する「よせあいベンチ」は中央に向かう緩やかな座面の傾斜によって2人以上が座ると自然と肩を寄せ合える仕掛けとなっています。

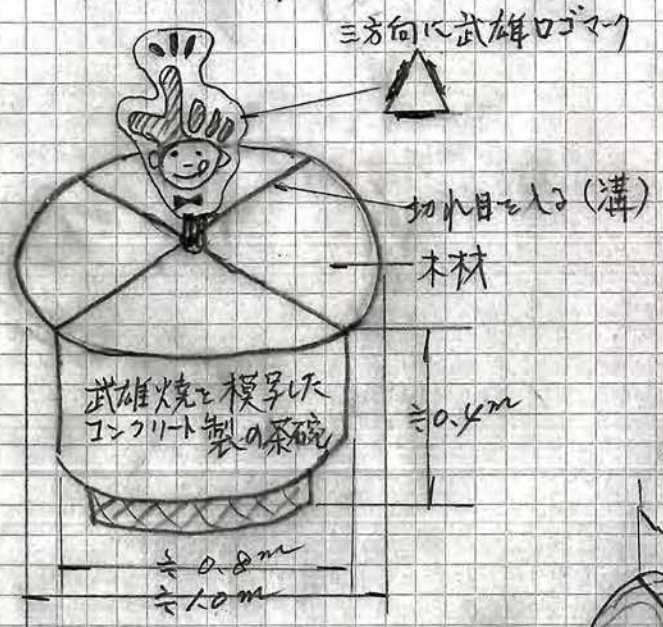
人々が肩を寄せ合う温泉、そして肩を寄せ合って皆が助け合って生活してほしいという未来への願いを込めてこの「よせあいベンチ」を提案します。

デザインは武雄市のシンボルである市草、また楼門を連想させるデザインを心掛け、武雄らしさを表現するベンチを目指しました。

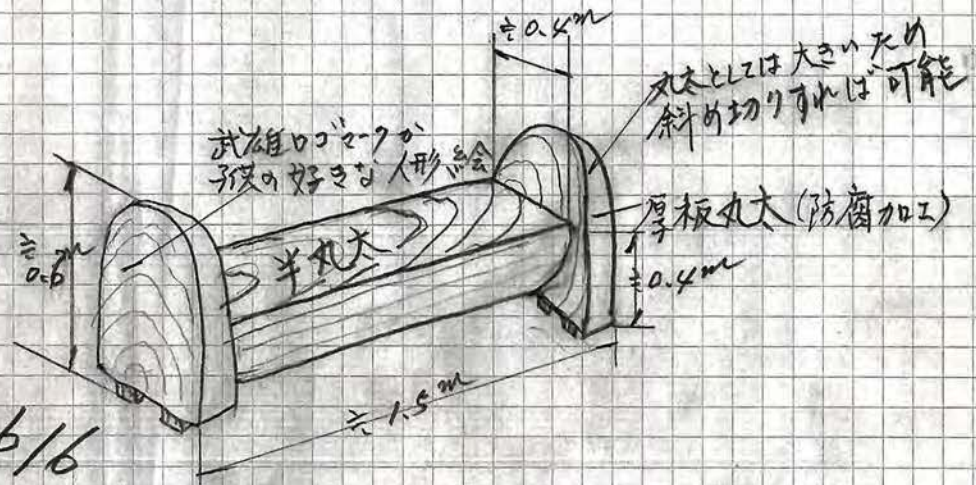


コクヨ コー50 (64x44)

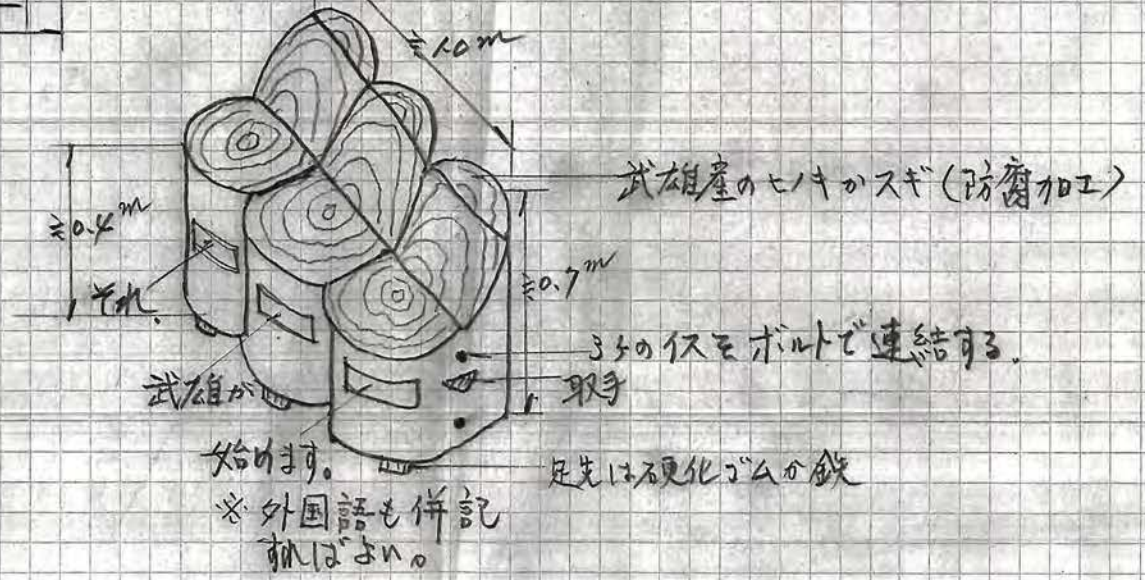
4/6 ⑥ 武雄焼茶碗ハッチ



5/6 ⑥ 半丸太ハッチ

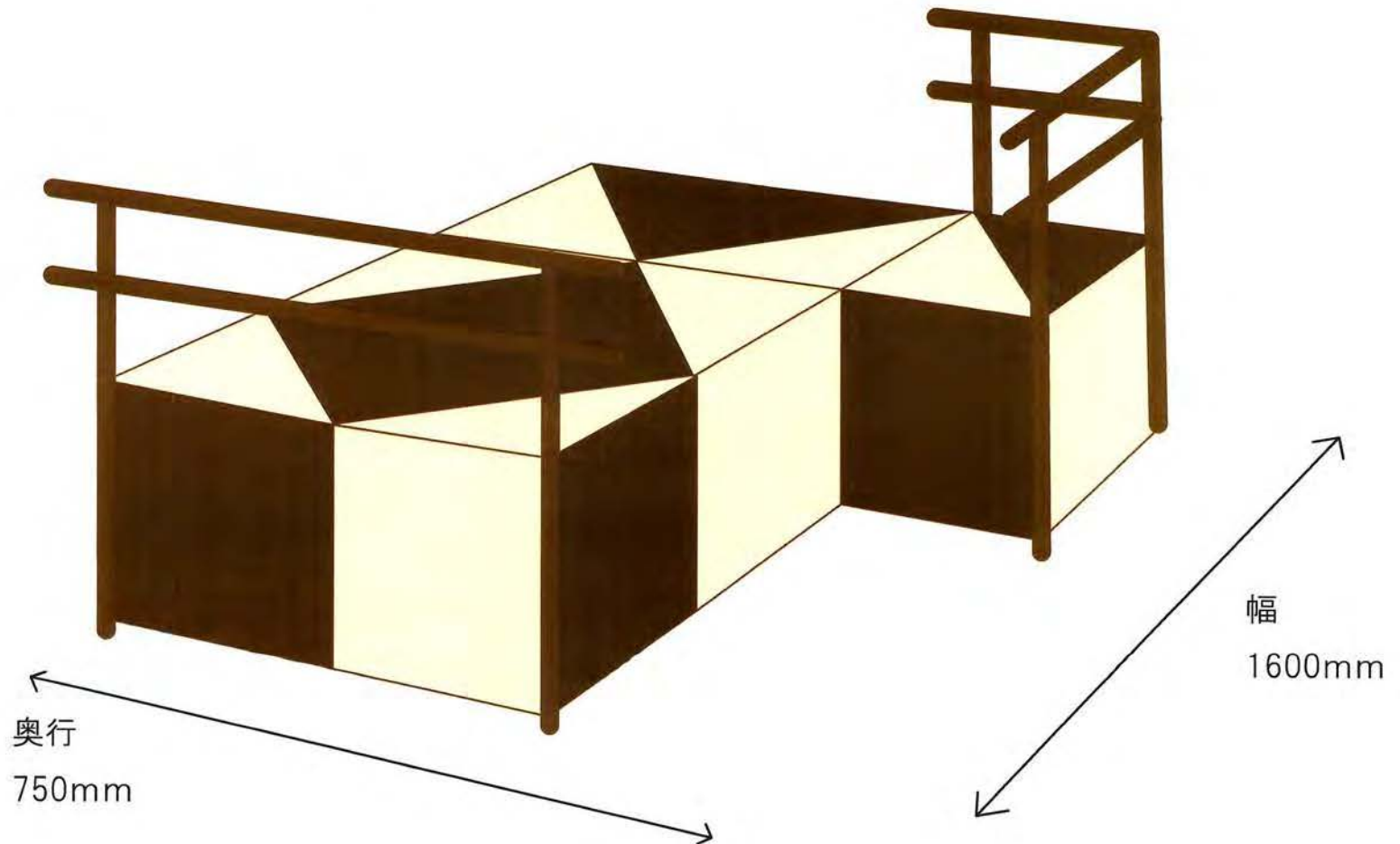


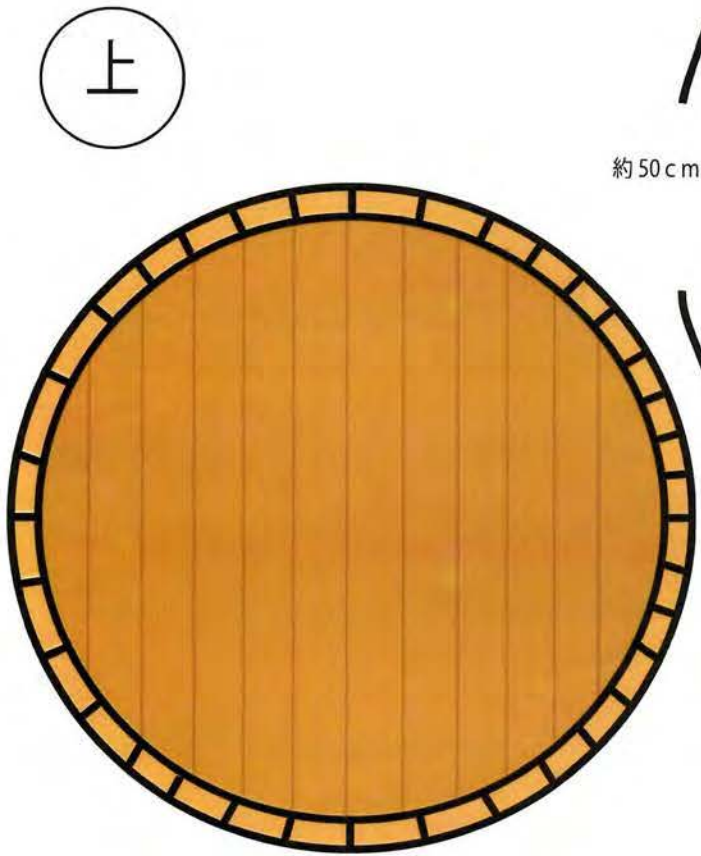
6/6 ⑥ 三連丸太ハッチ



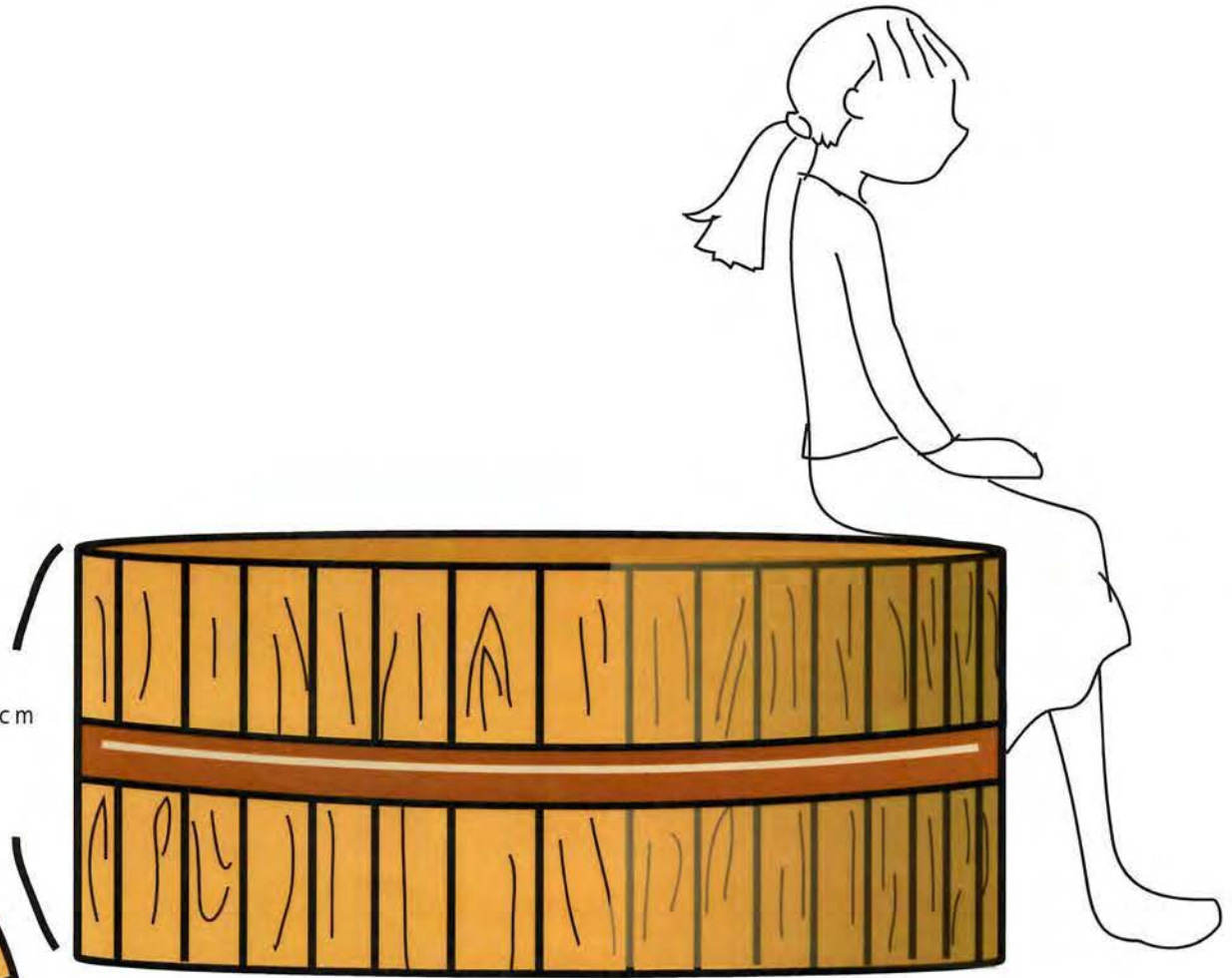
殿様湯 ベンチ

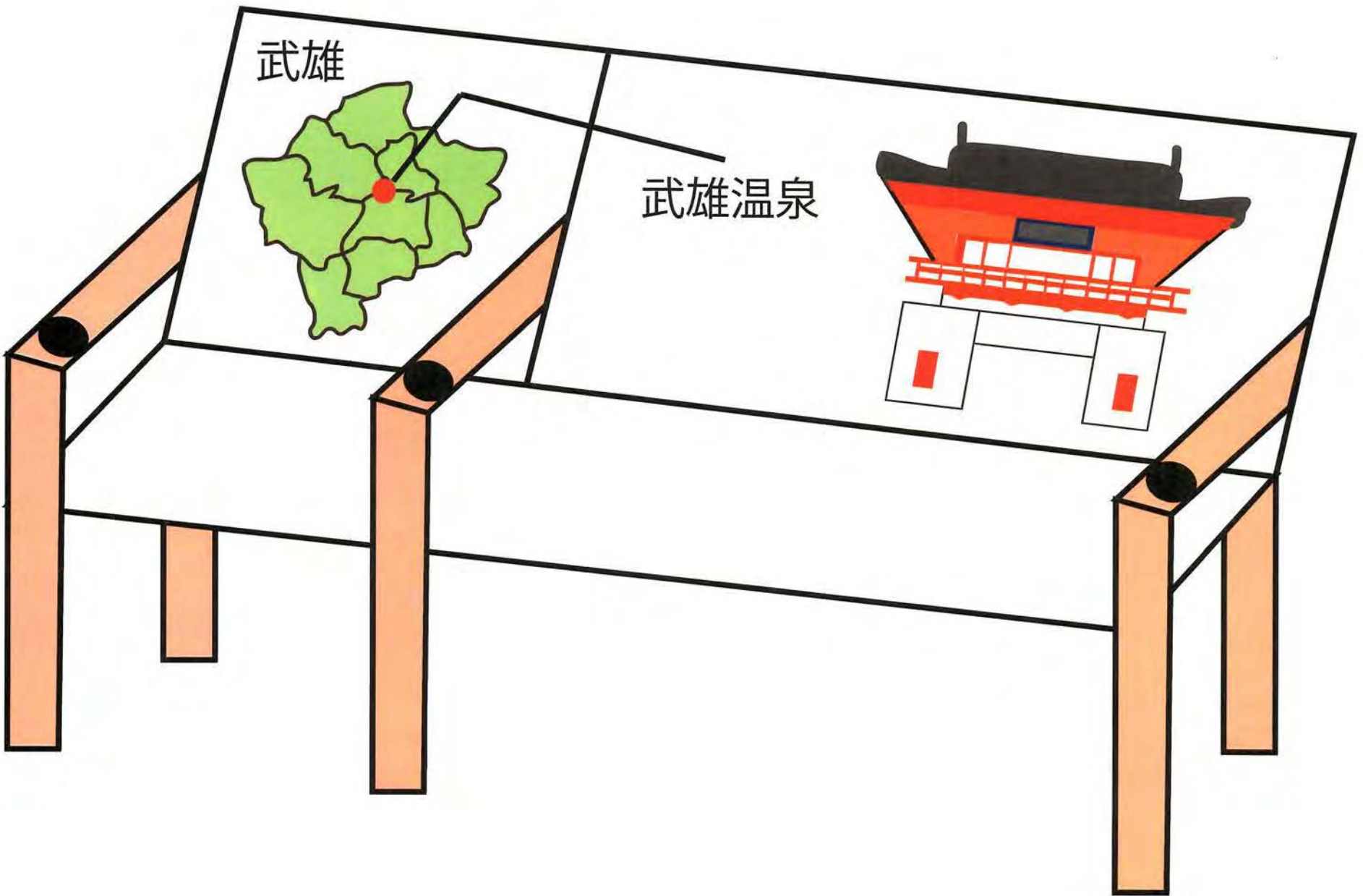
殿様湯の大理石の模様をモチーフとした二人掛けベンチです。





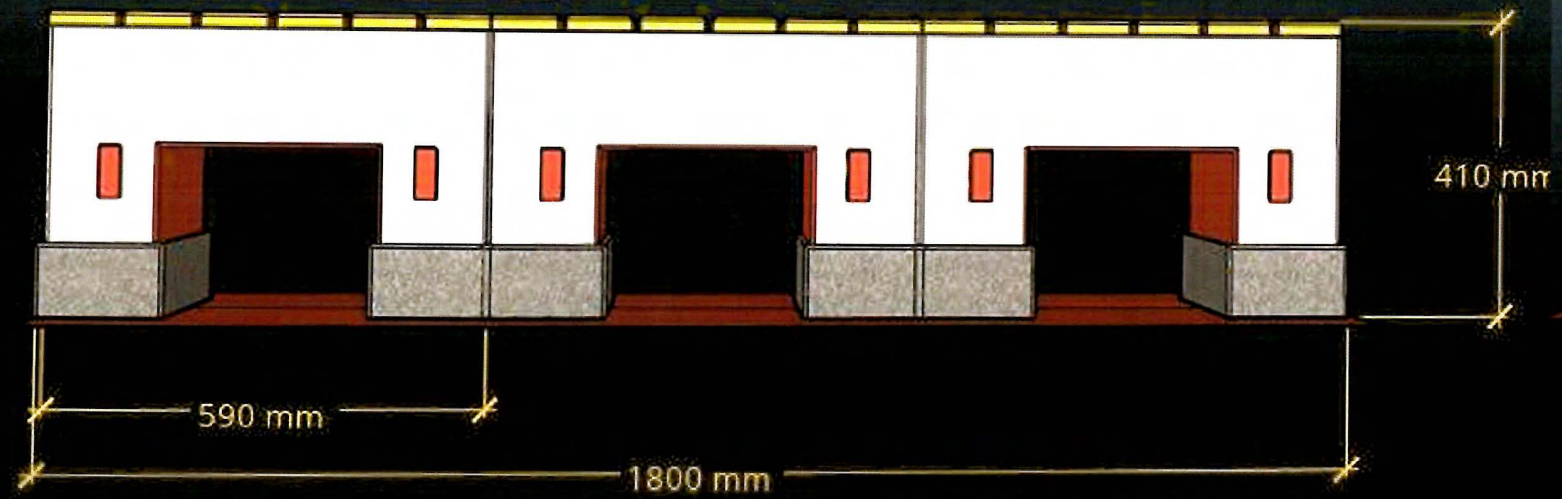
約 50 cm



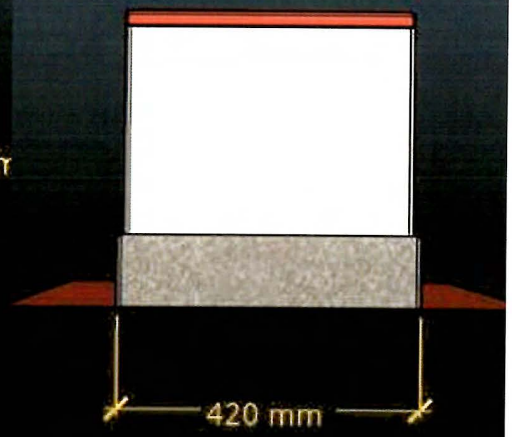




武雄市観光協会HPより



正面図



側面図

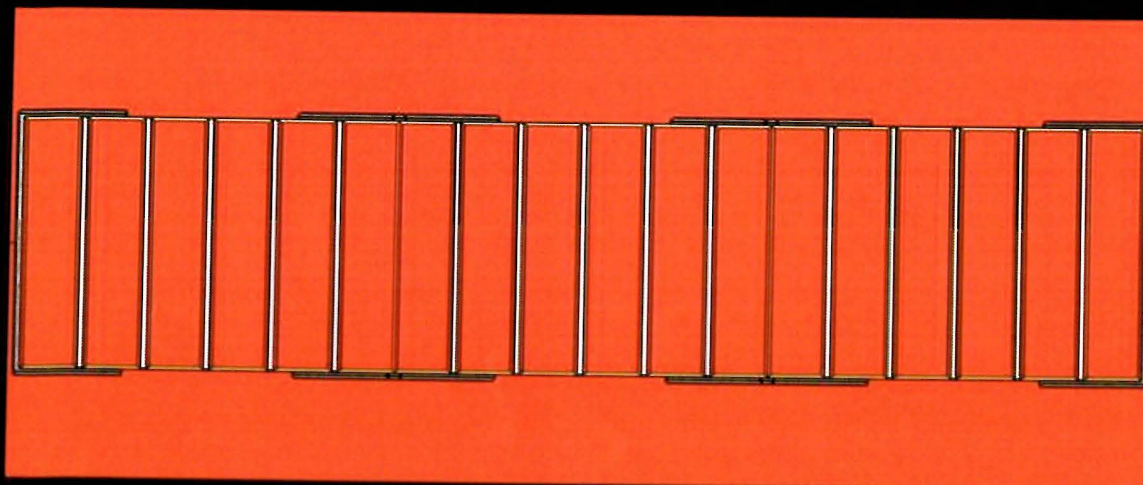
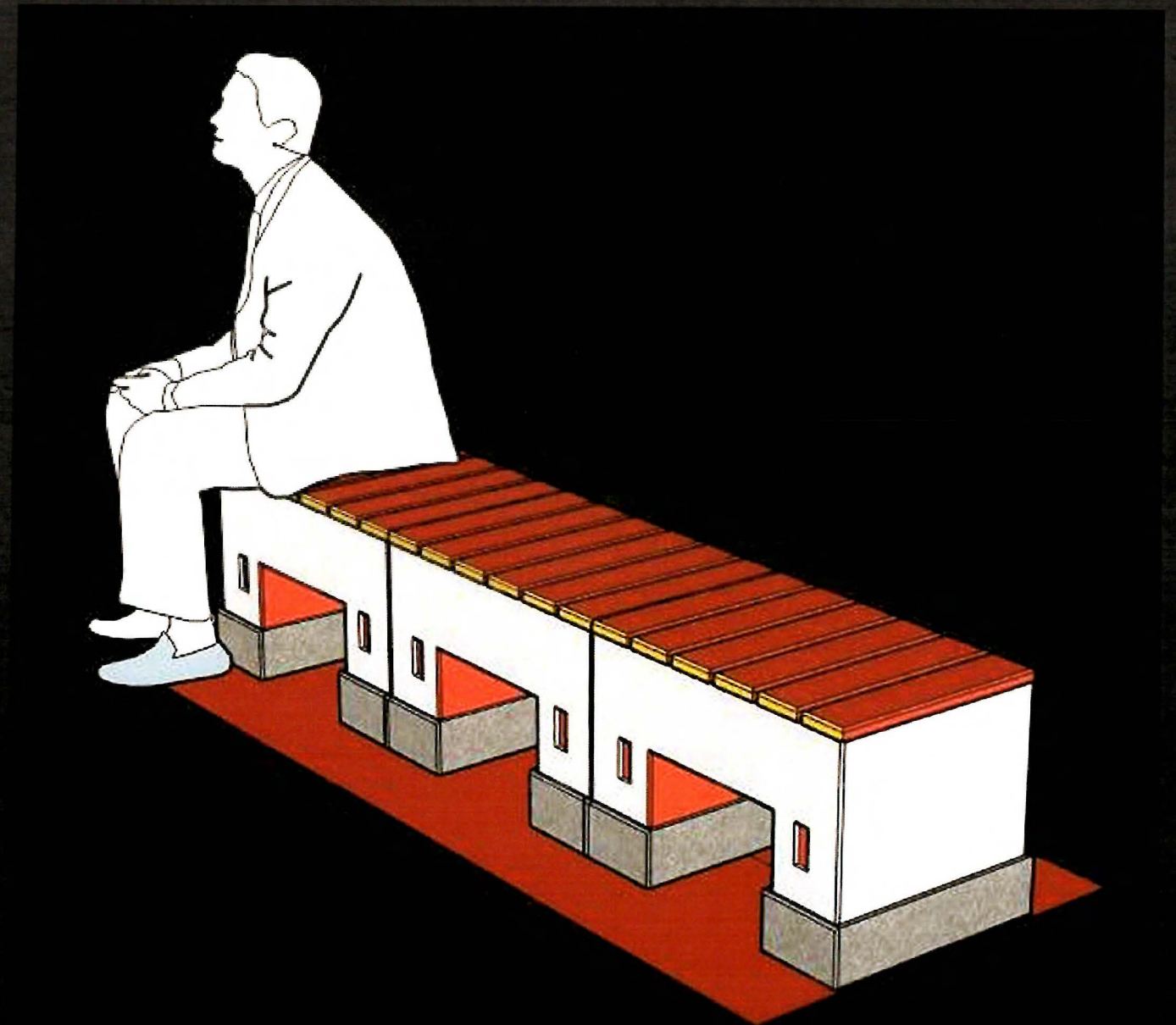
Takeo's Symbol

— 武雄のシンボル —

国の重要文化財である武雄温泉楼門・新館は武雄のシンボルといえる。設計した辰野金吾は没後100年を今年迎えた。それをモチーフにベンチを設計した。

- ・座いす部分は楼門1階漆喰の礎石部
 - ・座板は朱塗りの2階床であり、回り縁下である。
- をそれぞれモチーフとした。

素材：鉄骨・木材

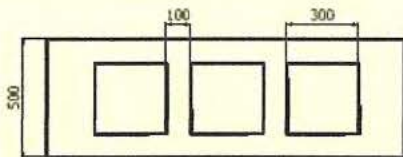


上面図

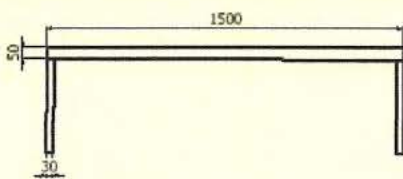
コンセプト

佐賀県の県木でもあるクスを使用し、座る部分には、武雄焼のタイルを取りつけて焼き物の魅力伝えます。また、タイルの位置で三人の座る位置がわかります。誰でも簡単に座れるシンプルなデザインの中に武雄市の魅力を存分に伝え、おもてなし出来るベンチになっています。

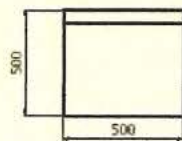
三面図(1:10)



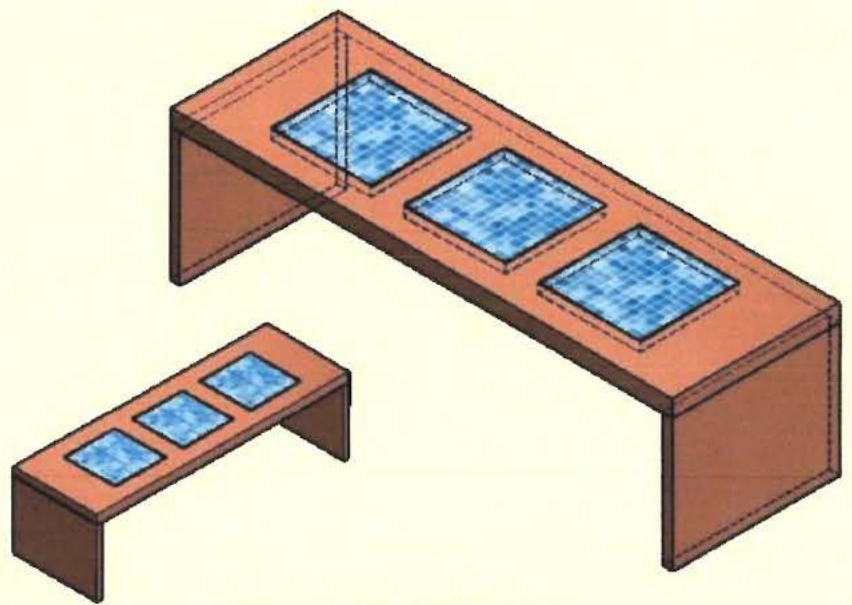
平面図



正面図



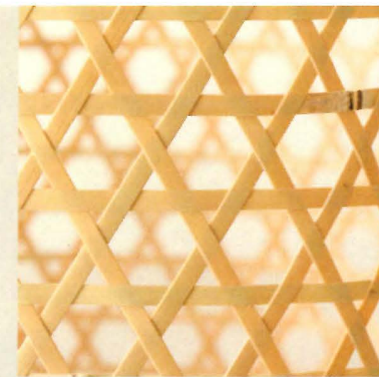
側面図



※タイル部分は様々な釜元で作成された、美しい模様の入った物を組み合わせて使用。

- ・木材 クス
- ・埋め込み 武雄焼

たがいちがいのベンチ



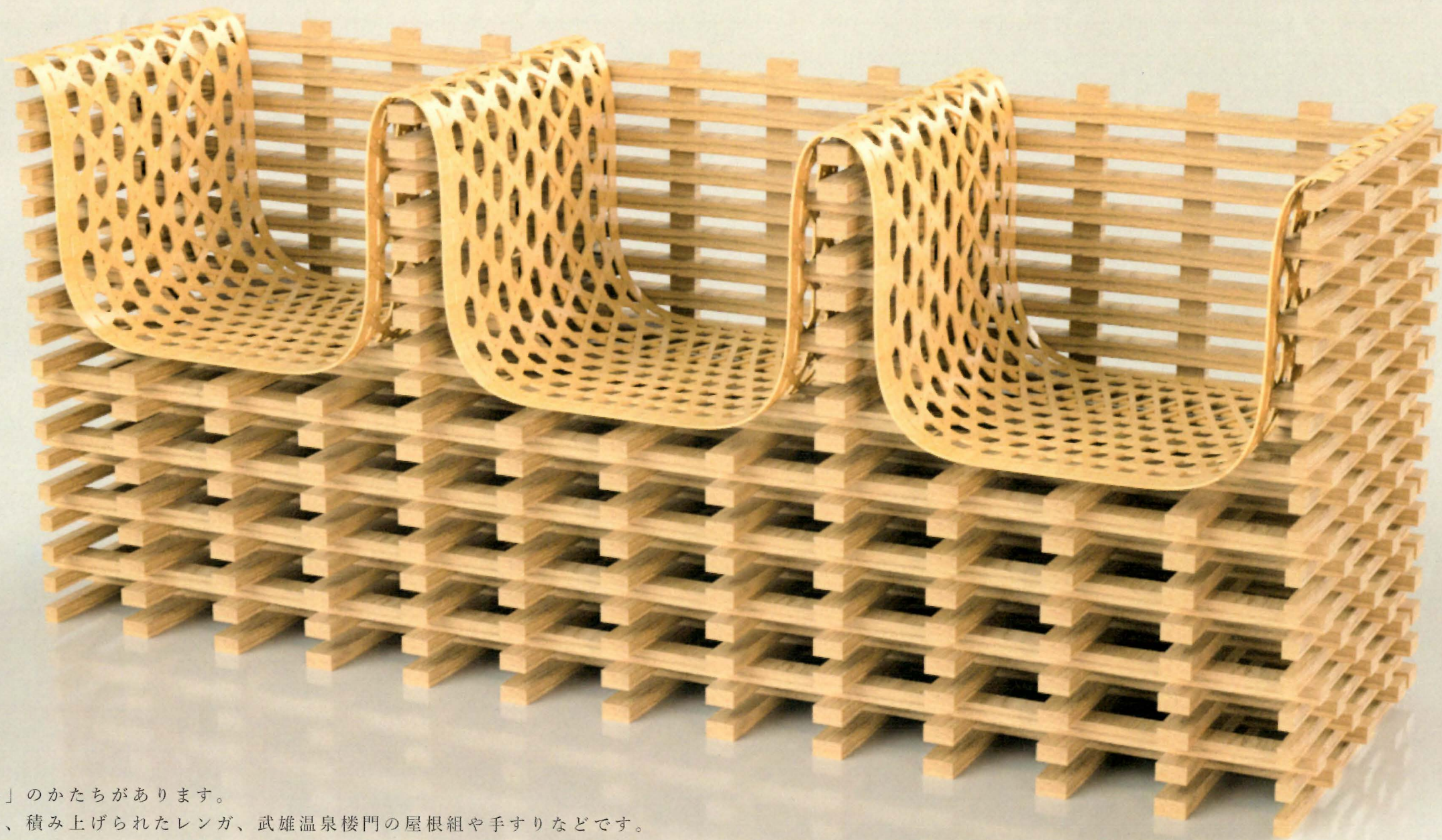
○西川登竹細工



○煉瓦



○武雄温泉楼門



武雄市にはいろいろな「互い違い」のかたちがあります。
例えば、西川登竹細工のパターン、積み上げられたレンガ、武雄温泉楼門の屋根組や手すりなどです。

このベンチは、そのような「互い違い」をモチーフに、
細かいものが集まり、重なって出来たベンチです。

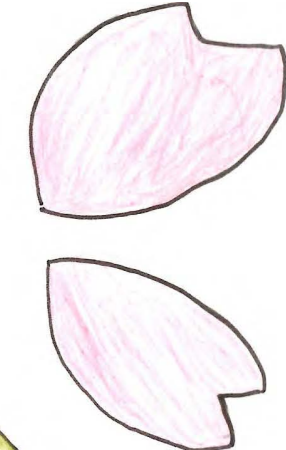
部品と部品の隙間から、後ろ側が透けて見えます。
印象的な見た目でありながら、景観との調和を目指しました。

土台部分は、胴縁材を互い違いに重ね、軽さと強度を両立させ、
座面部分は竹細工で作る、柔らかい座り心地と温かみのある触り心地を感じてもらえます。

「互い違い」の先に「武雄のおもてなし」を感じてもらえるベンチの提案です。



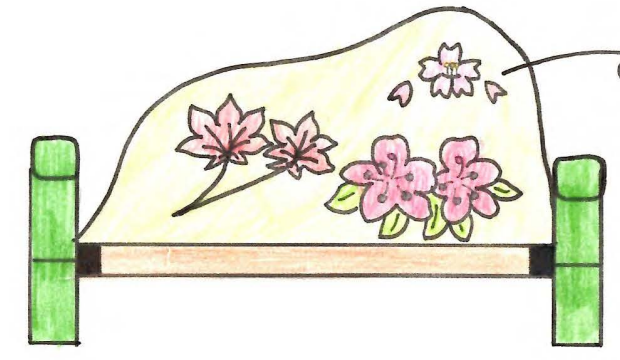
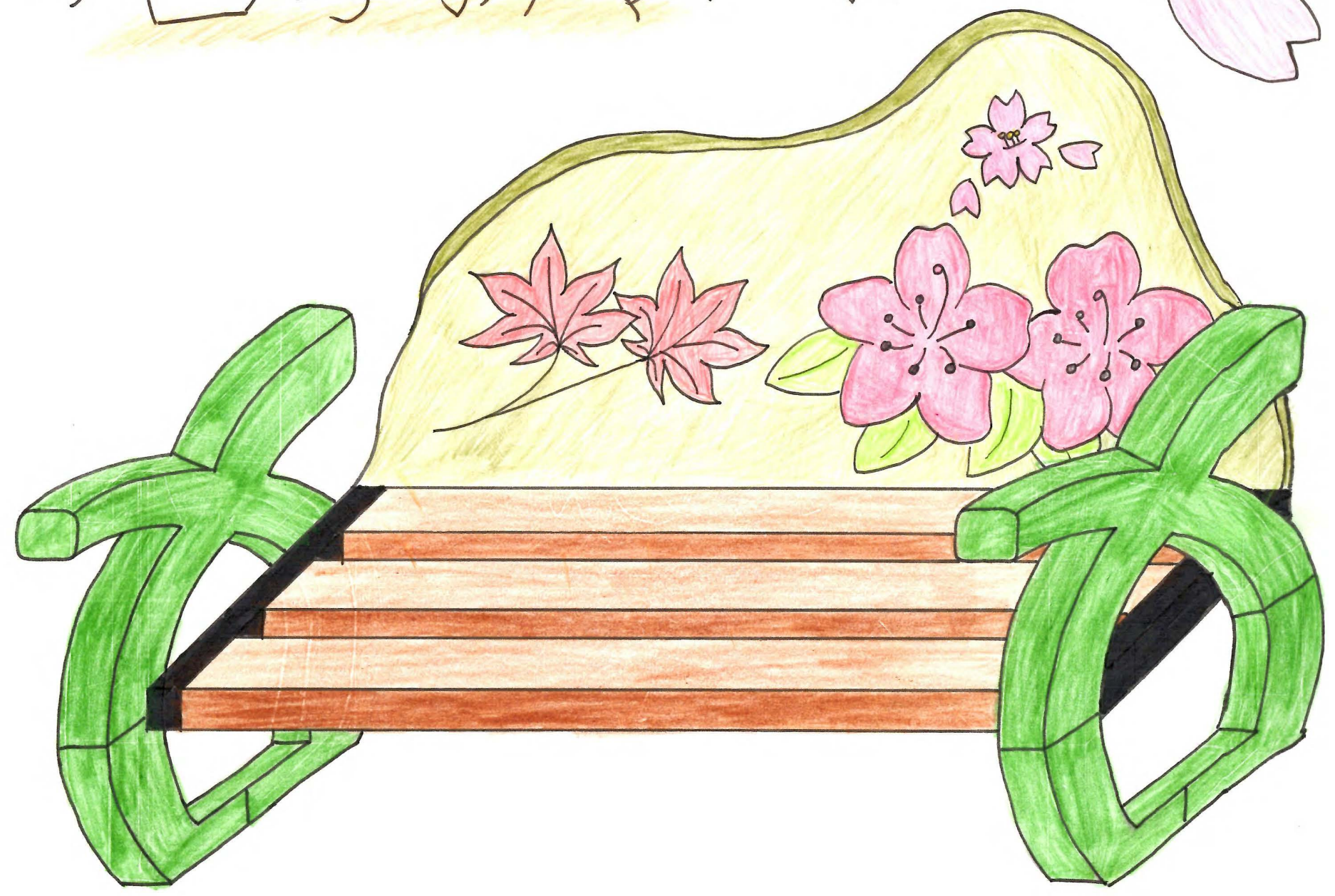
武雄市の四季折々ベンチ



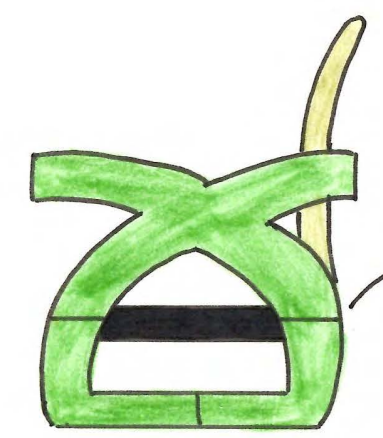
Concept

見た人が一目で「パッ!」と「武雄市だ!!」と気づくベンチにしました。背もたれには御船山楽園をイメージしたもので四季折々の花を描きました。また、肘を乗せるところには武雄市のマークを用いました。

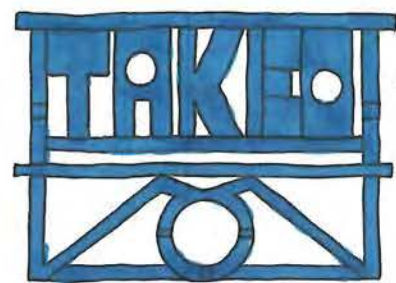
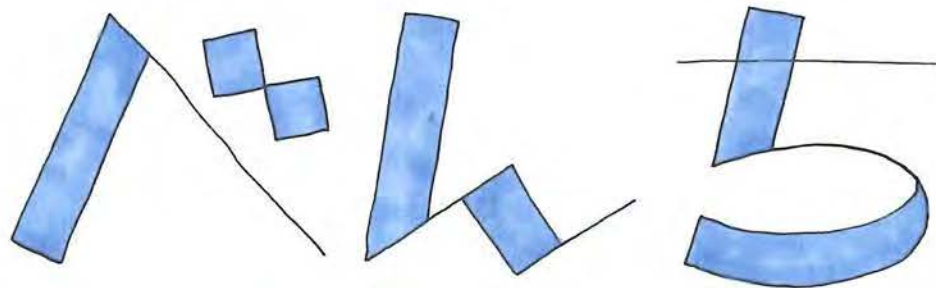
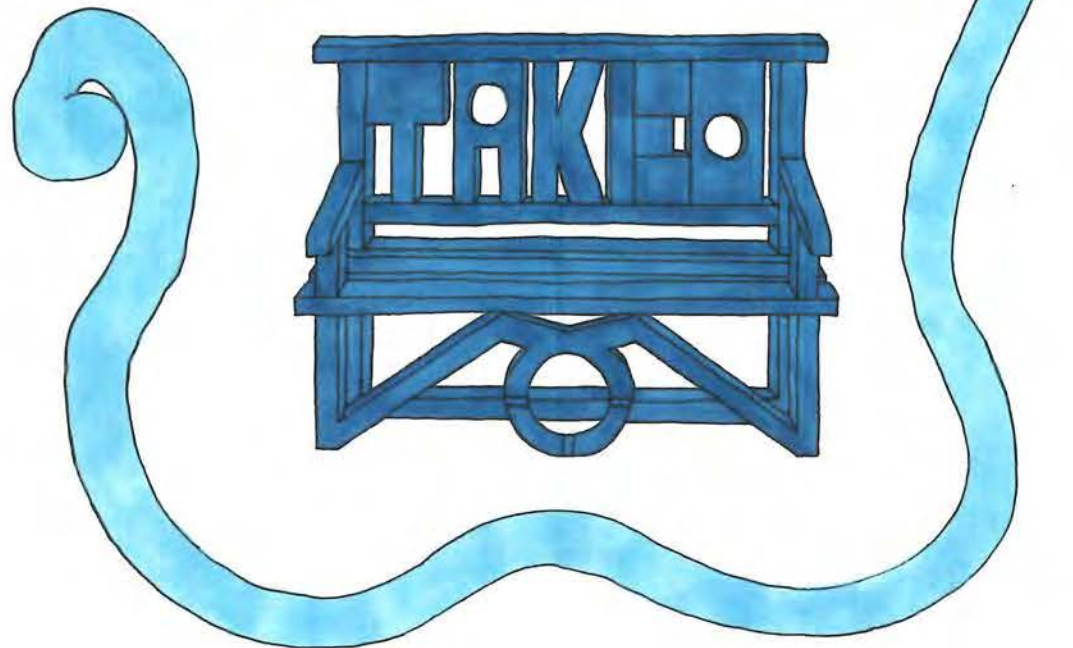
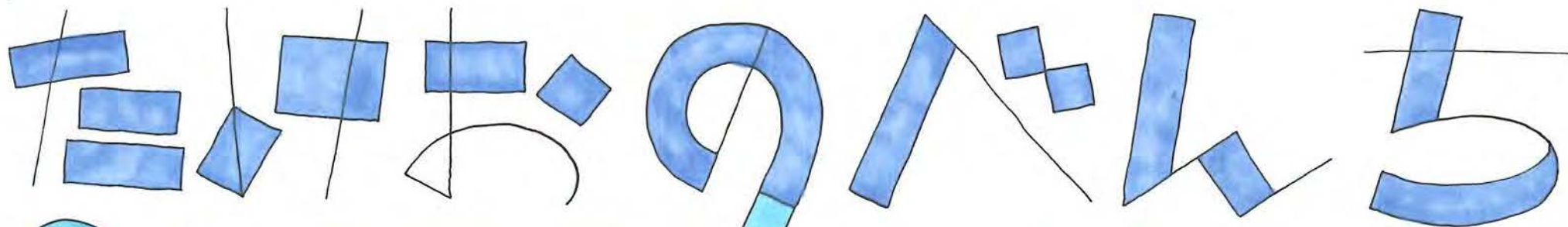
“武雄市で四季折々をお楽しみ下さい!!”



→ 桜、つつじ、もみじは彫刻です。

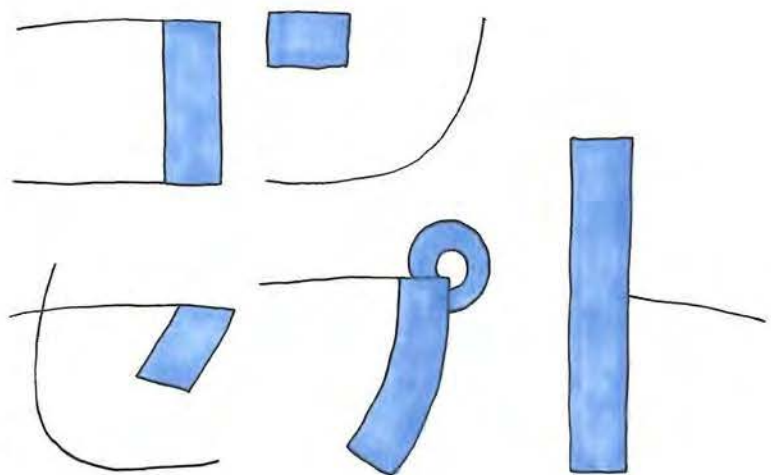
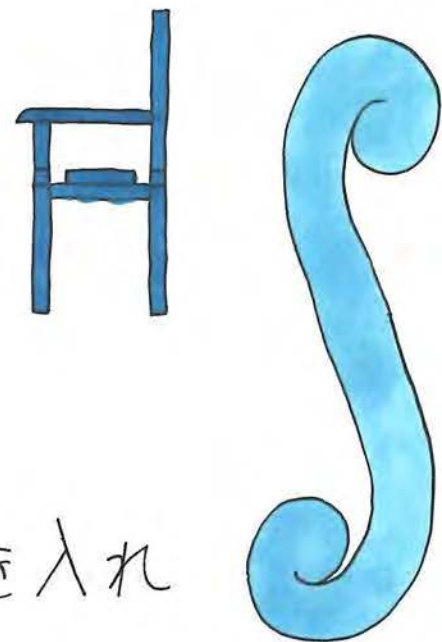


→ 武雄市のマーク



背もたれには
TAKEO

材は細く!
色は青く!



武雄市の名前と
シンボルマークを入れ
TAKEOの魅力
前面に押し出、広めるデザイン!!